

## 第6学年 家庭科学習指導案

は組 男子18名 女子18名 計36名

指導者 福丸 奈津子

### 1 題材 気持ちよく生活しようⅢ～快適生活プロジェクト～

#### 2 題材について

##### (1) 題材の位置とねらい

これまでに子どもたちは、冬を快適に過ごすための工夫について追求する活動を通して、季節に応じた住まい方の工夫をしたいとか、自分の住まいをより快適にしたいといった願いをもっている。また、自分の家庭生活を見つめ、家族の役割や家庭における自分の仕事についての学習を通して、自分は家族を構成する一員であることを実感し、家族の願いを実現するためには、家庭の仕事の必要があることに気づき、「家族のために、自分の家庭生活に応じた住まい方の工夫を見つけない」という願いをもっている。

そこで本題材では、季節に応じた生活の仕方に関心をもち、調べたことを冬における家庭生活の工夫と比較してその違いについて考える学習を通して、季節に応じた生活の仕方への理解を深めることをねらっている。さらに、他教科等でこれまで学習したことや生活経験を生かして、経済性・健康面・安全性などを考えた快適な住まい方、衣服の着方、食事の仕方など、家庭生活を総合的にとらえて広げ、自分の家庭生活に応じた快適な生活の仕方を実生活に生かすこともねらっている。

これらの学習は、家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知ったり、家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫したりする中学校の学習へと発展していく。

##### (2) 指導の基本的な立場

住まいは、家族が食事や睡眠をとったり、活動したりくつろいだりして生活をともにしながら、家族の絆を深め、助け合って家庭生活を営む場である。そのためには、健康で、安心して体や心を休め、落ち着ける場所でなければならない。健康を保持し、快適に生活するためには、光環境、温熱環境、空気環境などの衛生的な環境条件を整え、衣服の着方や食事の仕方なども含めて、総合的に生活の仕方をとらえることが重要である。日本の気候は、全体的に見ると夏と冬の温度差が大きい。したがって古くから日本の住まい方を工夫するだけでなく、衣服の着方や食事の仕方など様々な面から総合的に工夫する術が受け継がれてきた。しかし、最近では住居の防音性や断熱性、気密性が高まり、空調設備が普及したことにより、ボタン一つで快適な生活が可能となっている。その一方で、気温の変化に順応できず、体調を崩すことも起こっている。そのため、子どもたちが自分の生活の仕方を見つめ、より快適に生活する工夫について考えることは、家庭生活を主体的にとらえ家族が快適で安全な生活を送るために大切なことである。

そこで、本題材では、季節に応じて快適に生活するために、家庭生活上で工夫していることを見つめ、季節に応じた生活の仕方がどのような根拠からなされているのか追求して深めたり、住まいに関することを中心にしながら、衣服の着方や食事の取り方など家庭生活を総合的にとらえて広げたりすることを大切にしたい。

具体的には、まず、冬を快適に生活するための工夫についてこれまでの学習を振り返り、冬の生活とは気候が異なる夏の快適な生活の仕方について取り上げ、これから訪れる季節を快適に過ごすためのよりよい方法を探ろうという視点で課題を見つけさせる。さらに、学習したことを組み合わせながら家庭生活上で生かせることとして実践計画を立て、家庭で実践した友達の工夫のよさに気付かせることで、家庭生活をさらによりよくしていこうとする気持ちをもたせるようにする。

これらの学習を通して、子どもたちは、季節に応じて快適に生活するよさや方法に気づき、家族の一員として快適な家庭生活を送るために、住まい方や衣服の着方、食事のとり方などを総合的に考えて工夫していこうとする実践的な態度を高めることができるものと考えている。

### (3) 児童の実態（質問紙法，複数回答有り）

- ① **5年題材「冬を快適に過ごそう」の学習でわかったこと**  
効率的な換気の仕方30，効率的な部屋の暖め方8，結露の防止方法6，衣服の工夫8，自然採光6，効果的な暖房器具の活用法4，節電4，寒さ対策2，冬に合った生活2，飲食物の工夫2，家族に応じた工夫2
- ② **5年題材「冬を快適に過ごそう」学習後，家庭で実践できたこと**  
効果的な換気14，ない9，節電6，衣服の着方の工夫6，効果的な暖房器具活用4，部屋の暖め方4，自然採光2
- ③ **夏を快適に過ごすためにできる工夫**  
窓を開ける17，衣服の着方の工夫6，冷房7，冷たい飲食物3，日陰をつくる1，節電1，網戸1，緑のカーテン1，打ち水1，風鈴1，カーテンを閉める1，わからない1
- ④ **他教科等と関係があるか**  
○ある23 理科9（実験方法，物の性質，温度，環境，内容全部，対流，道具），算数8（計量，計算，単位），社会5（道具，生産，くらし，環境，食文化），国語5（道具の名前，発表方法，話し合い活動，図書），図工2（盛りつけ方），外国語活動2（他国の食文化），道徳1（相手を思う気持ち），全教科等（学習の順序）  
○ない13
- ⑥ **学習したい方法**  
実際にやってみる16，本13，身近な人へのインタビュー8，インターネット7，グループ学習6，実験5，映像1，生活経験1，ノート記録1

本題材に対する学級の子どもの実態は，以下のとおりである。

①②から，様々な観点から冬を快適に過ごすための工夫について理解していることがわかるが，実際に自分の家庭生活で実践できていない児童がいたり，実践できている事柄が少なかったりすることがわかる。

①③から，冬を快適に過ごすための工夫について知ってはいるが，その観点を他の季節に応じた工夫に結び付けて考えられている児童が多いとは言えない。これは，緑のカーテンや打ち水など，これまでの生活経験において聞いたことはあるが，児童によっては，これまでの家庭科の学習を生かして考えようとしていないことがわかる。また，③については，①に比べて複数の

工夫を考えている子どもは少なかった。これは，様々な方法を総合的に取り入れることで，さらに快適に生活できることに気付いていないからではないかと思われる。

④から，家庭科の学習が他教科等と関係があると考えている子が多くいることがわかる。しかし，一方で，13名は関係がないと考えていることがわかる。これは，他教科等でこれまで得た知識や考え方などを生かして課題を解決したり新たな発見をしたりできることに気付いていないためであると考えられる。そこで，これまでの学習経験が家庭科の学習に生かせたり，さらには家庭科で学習したことが実生活や他教科等へ生かしていけたりすることに気付かせる必要がある。

⑤から，課題の追求に当たっては，実際にやってみる，本やインタビューなど冬の生活の仕方追求したことを生かそうと考えていることが分かる。

このような結果から，課題を設定する際には，どのようにすれば夏を快適に過ごせるのか，家庭生活を見つめさせたり，これまでの生活経験や学習経験，冬の生活の仕方追求した内容（換気の工夫，暖房器具の使い方，食事の仕方，衣服の着方など）を想起させたりしていきたい。また，体験的な活動を取り入れながら具体的に追求することを考えさせたい。

### (4) 指導上の留意点

ア 子どもたちに季節に応じて快適に生活したいという気持ちを高めさせるために，冬の生活と夏の生活の違いを考えさせる。そして，冬を快適に生活するために，どのような工夫がされていたか振り返り，これから訪れる夏の生活で困っていることを改善できないかということから，課題をもたせる。

イ 子どもたち一人一人が意欲的に課題を追求することで工夫の仕方を深め，互いに追求したことを基にして夏を快適に生活する方法を考えるために，課題別グループ学習を取り入れる。課題追求に当たっては，これまで理科などで学習した内容と結び付けて考えさせたり，算数科などで学習したことを生かして表現させたりする。また，夏を快適に生活するために様々な方法があることに気付かせ，それらを自分の家庭に総合的に生かすことができないか考えさせる。

ウ 季節に応じた快適な生活の仕方に気付かせるために，夏と冬の生活の仕方を比較した結果を基にして春や秋の生活の仕方について考えさせ，快適に生活するための工夫の観点は季節が変わっても変わらないことをおさえる。さらに，計画したことを家庭で実践し，その結果を報告する場を設け今後の家庭生活に生かせることについて話し合う。

### 3 目 標

- (1) 季節に応じた健康的な住まい方や衣服の着方，食事の仕方などについて進んで調べ，気候の変化に応じて快適に生活する工夫をしようすることができる。
- (2) 気持ちよく生活するために，暑さ・寒さ，通風・換気及び採光などを健康面や経済面などで比較し，関係付けたり，季節に応じた生活の仕方を住まい方や衣服の着方，食事のとり方などから総合的にとらえたりすることができる。
- (3) 気持ちよく生活するために，季節に応じて暑さ・寒さ，通風・換気及び採光などを工夫する必要性が分かり，自分の家庭生活に応じて快適に生活する工夫を考えることができる。

### 4 指導計画（全 11 時間）

過程	学ぶ喜びや楽しさ	主な学習活動	教師の具体的な働きかけ
みつめる	電気代が上がると分かっているけどつい冷房を使ってしまうな。	1 窓のない家や屋根のない家の模型から，住まいの役割について考える。① 2 気持ちよく生活するために追求するテーマを設定し，家庭生活に基づいて立てた自分の課題を明らかにする。②	○ 課題を明確にしたり，追求計画を立てやすくしたりするために，自分の家庭における問題点や，重視したい視点をつなげて考えさせるようにする。
つかむ	環境によくて，涼しくする方法はについて調べよう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     自分の家庭生活をより快適にするためには，どのような工夫をすればいいだろうか。                 </div> 3 課題別グループで，課題を解決するための追求計画を立てる。③（本時） 4 暑さ・寒さ，通風・換気及び採光などの課題別グループに分かれて，追求活動を行う。④⑤⑥	○ 快適な生活について多様な視点からまとめることができるようにするために，課題別グループ学習を取り入れる。
見通す	風呂の残り水や自然の風を活用すると環境面でも経済面でも課題を解決できるなあ。	<div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span>暑さ・寒さ</span> <span>通風・換気</span> <span>採光</span> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     【視点】環境面 経済性 健康 など                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     【内容】 理科「日なたと日陰」「空気と温度」 体育科「健康によい生活」 など                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     【方法】 理科：条件制御，算数科：測定 など                 </div>	○ 見通しをもって活動することができるようにするために，どのような方法で追求すると課題が解決できるのか考えさせる。その際，他教科等で学習した内容を想起させ，結果に基づいて考えをもつための根拠として参考にさせる。
追求する	「冬を快適に過ごす」学習の考え方から，窓を開けて，空気の出入り口を作ろう。	<div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                             (例) ござ・すだれ・よしず・窓の開け方打ち水の利用                         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                             寒色（青など），通気性のいい布（麻など）の利用                         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                             植物（緑のカーテン，広葉樹など）の利用                         </div> </div> 5 追求して明らかになった結果について，グループ間で情報交換をする。⑦	○ 実感を伴った理解をさせたり，説得力のある発表にさせたりするために，図や表，グラフを用いて事実と考えの根拠を明確にさせるようにする。
まとめる・生活化への意欲付け	うちはマンションだから庭はないけど，ベランダでも緑のカーテンはできそうだな。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     【方法】 算数科：図，グラフ，表 【考え方】 理科：予想，類推，事実と考え など                 </div> 6 調べて分かったことをモデルルームなどに具現化し，意見交換をする。⑧⑨ 7 気持ちよく生活するための衣生活，食生活の工夫についてまとめ，家庭での実践計画を立てる。⑩	○ 実感を伴った理解をさせたり，説得力のある発表にさせたりするために，図や表，グラフを用いて事実と考えの根拠を明確にさせるようにする。
	家族がとても喜んでくれたよ。夏になるともっと効果がありそうだな。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     季節に応じて，気温や風通し，採光などの観点で工夫をすることが大切だ。その際，環境のことを考えて，より自然の力を利用すればいい。                 </div> 8 家庭で実践したことについて報告会を行う。⑪	○ 季節に応じて生活の仕方を工夫していることに気付かせるために，夏と冬の生活の工夫と比較・関係付けさせ，それぞれの生活の仕方をまとめさせる。その際，子どもたちの思考の助けとなるように，冬の生活の仕方で用いた資料も準備する。
			○ 学習したことを家庭生活で生かすことができるようにするために，実践計画を立てる。
			○ 追求活動の中で児童が気付かなかったことや補足説明が必要な内容については，教師が全体の場で伝えるようにする。
			○ 家庭生活をよりよくしたいという気持ちをもたせるために，実践したことだけでなく，家族の様子についても報告させる。

## 5 本 時 ( 3 / 1 1 )

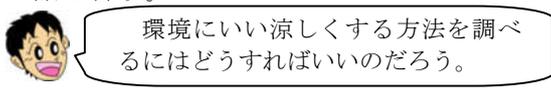
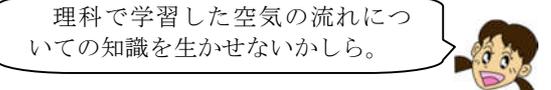
### (1) 目 標

風通しや採光など自分の課題を解決するための追求方法について進んで考えようとし、課題に応じた追求計画を立てたり、家庭生活と結び付けて考えたりすることができる。

### (2) 本時の展開にあたって

より客観性のある追求計画が立てられるようにするために、課題別グループ間で互いの追求計画について伝え合い、気付いたことや矛盾点などについて指摘し合わせる場を設けるようにする。その際、根拠、条件、時間、方法など、どのような視点で評価し合えばいいか確認させるようにする。

### (3) 実 際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
みつめる・つかむ	1 学級のテーマを確認し、学習課題を設定する。  自分の家庭生活をより快適にするためには、どのような工夫をすればいいだろうか。  自分の課題を解決するためには、どのような追求計画を立てればいいだろうか。	(分) ↑ 5 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的意識をもたせるために、本時の学習課題を設定させる。その際、前時までの学習を振り返らせ、最終的に自分の家庭生活で生かせるようにすることを意識させる。</li> <li>○ 昨年度の学習で得た、気持ちよく生活するために必要な、風通し、明るさ、涼しさ・暖かさ等から住まい方の工夫を生かして、計画を立てられることに触れる。</li> <li>○ 見通しをもって活動することができるようにするために、学習計画を基に、追求結果から情報交換することを確認させる。</li> </ul>
	見通す	2 課題別グループで、追求計画について話し合う。  	
追求する	3 2で話し合った追求計画について発表し合う。  うれ「空気を調べよう」を調べるのよ流 どうやって調べるの。 どんな予想を立てているの。 結果によって、どのように家庭で生かせそうなの。 条件はそろっているかな。 など	↑ 15 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的に応じて工夫することの大切さに気付かせるために、環境面、効率性など、各グループで重視した視点を明確にして追求計画を立てさせるようにする。</li> <li>◎ 計画についての話し合いが進まないグループには、家庭生活で困っていることを想起させたり、生かせそうな他教科等の学習について紹介したりする。</li> <li>○ より客観性のある追求計画が立てられるようにするために、課題別グループ間で互いの追求計画について伝え合い、気付いたことや矛盾点などについて指摘し合わせる場を設けるようにする。その際、根拠、条件、時間、方法など、どのような視点で評価し合えばいいか確認させるようにする。</li> <li>○ 必要な知識を確実に習得させることができるようにするために、児童が情報交換の場で理解できていないことや気付いていないことについては、全体の場で補足説明をする。</li> <li>○ 次時以降、根拠に基づいた追求活動や実践を行うことができるようにするために、教師や友達から指摘されたことを基に、追求計画の見直しをさせる。その際、事実を確認することだけに留まらず、家庭生活と結び付けて考えられるように、結果から何が言えそう問い続ける。</li> <li>○ 家庭のプライバシーに配慮するために、希望に応じて発表させるようにする。</li> <li>○ 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもたせるために、振り返りカードを記入させる。その際、「分かったこと」については、本時で得たどの情報から分かったのかを明確に記入させる。また、本時の学習と自分の家庭生活を結び付けながら振り返らせるようにする。</li> </ul>
	まとめる・生活化への意欲付け	4 学習のまとめをする。  自分の家庭生活に応じて、予想を立てたり条件を決めたりすればいい。  5 追求計画の見直しをする。  うる「空気の温度を下げよう」の方法を見つけてよ <分かっていること> ・ 冷たい空気は下に下がる。 ・ 地面が温められて空気に熱が伝わる。 <予想> ・ 風呂の残り水などで地面の温度を下げれば、気温も上がりにくいのではないか。 など	
	6 本時の学習を振り返る。  どのように家庭で生かせるか考えながら追求活動を進めていこう。予想した結果と実際に調べた結果を早く比べてみたいな。 		